

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 48 週(2025/11/24~11/30) 感染症発生動向調査速報値 (2025/12/3 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **2,368** 人、定点医療機関当たり **49.33** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

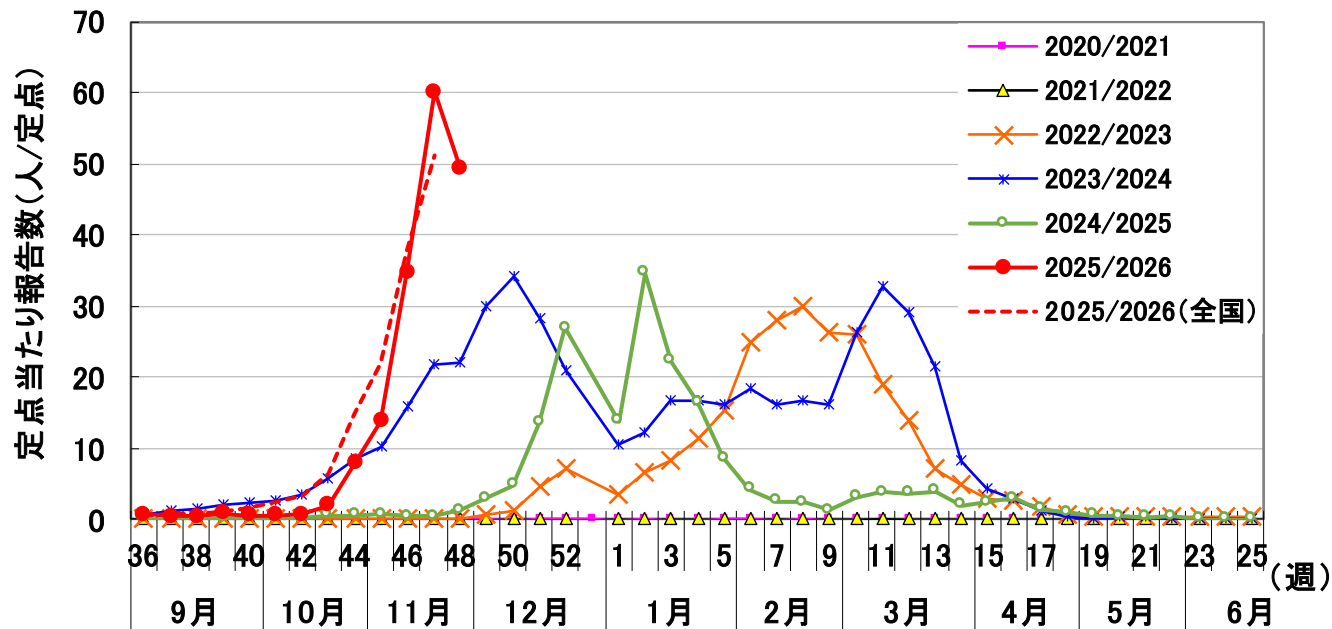
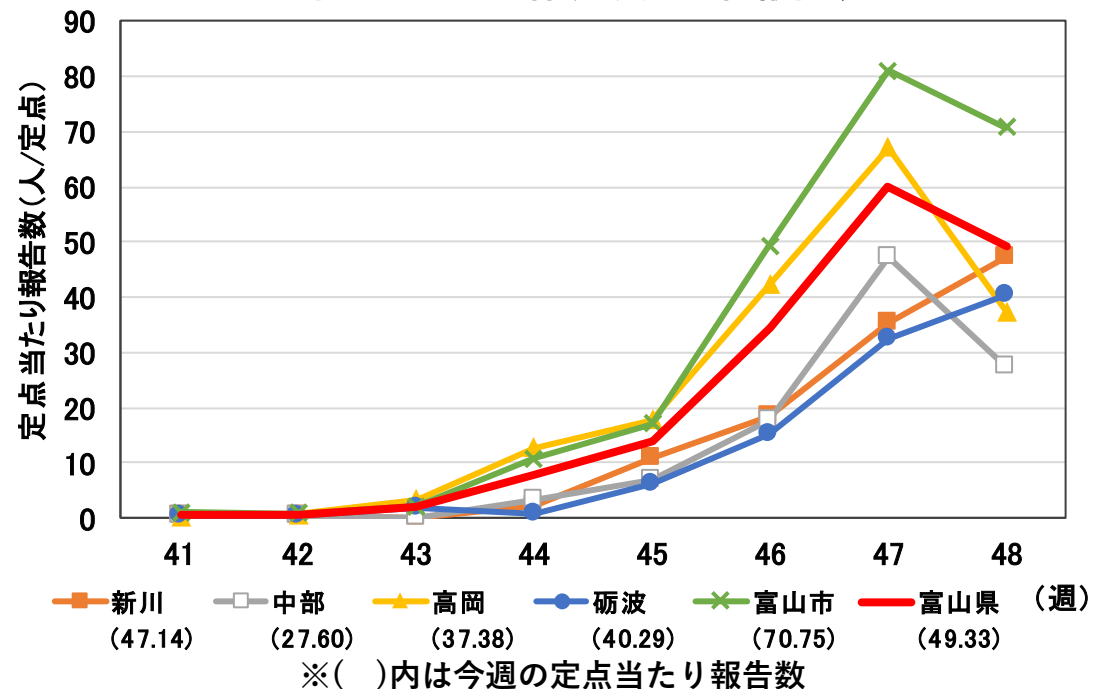
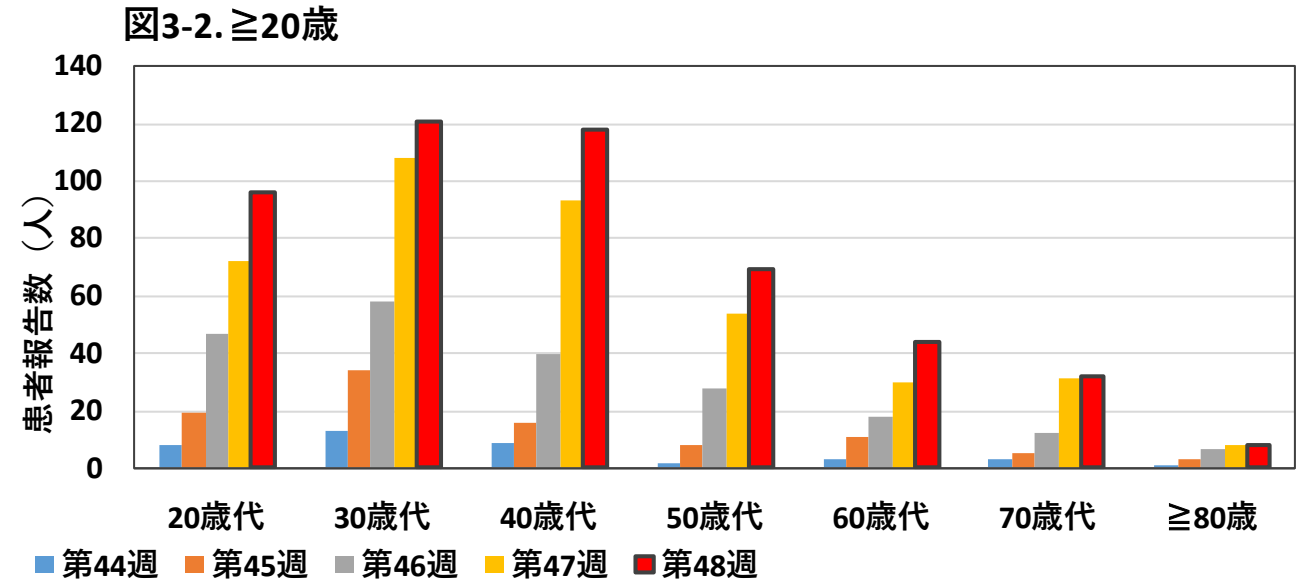
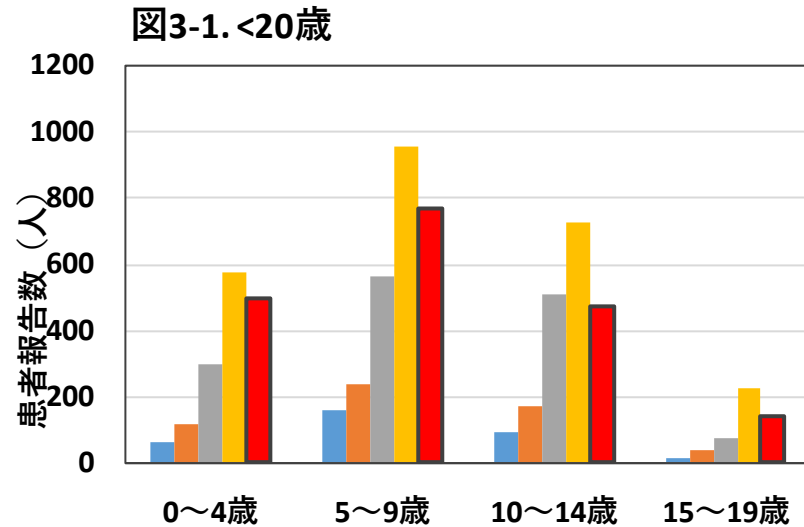


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週49.33人/定点となり、先週 (60.08人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、新川、砺波管内で先週から増加した一方、そのほかの管内では先週から減少した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満では、すべての年齢層で先週から減少した。
20歳以上では、80歳以上で横ばいであったほかは、すべての年代で先週から増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第47週)

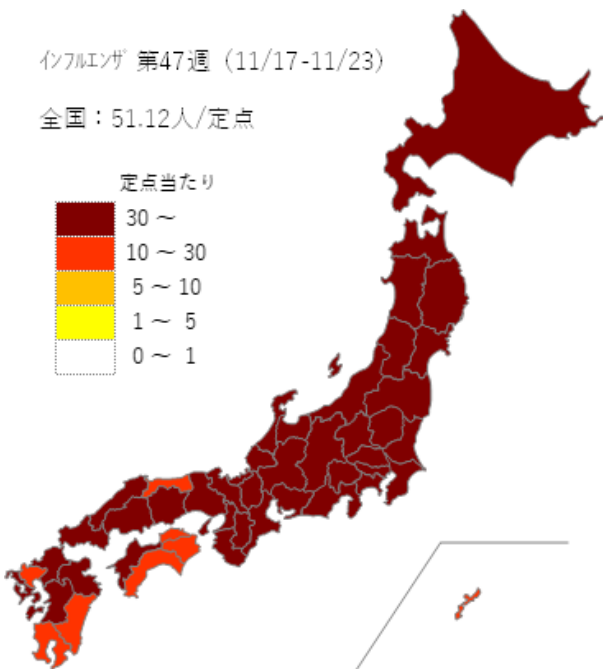
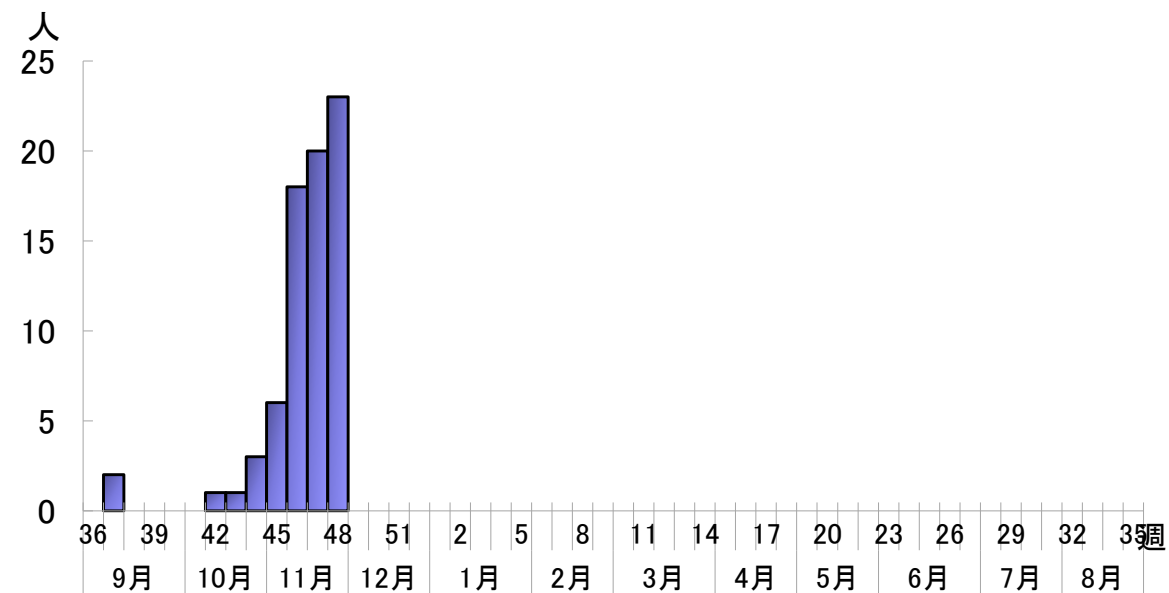


図5. インフルエンザ入院患者報告数(富山県、第48週)



- 全国では第47週に51.12人/定点となり、第46週（37.73）から増加した。都道府県別では、39都道府県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週23例（10歳未満:7例、10歳代:3例、30歳代:3例、70歳代:5例、80歳以上:5例）の報告があった（図5）。
- 第48週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が55件（小学校35件、中学校9件、高等学校10件、その他1件）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
- 県内の患者報告数は先週から減少したが依然として多い状況である。年齢別にみると、小児では減少に転じた一方で、成人では増加が継続しており、引き続き発生動向を注視する必要がある。